

火葬場見学会のご報告

令和6年1月25日金曜日午後1時より、理事会メンバーにて、青森県十和田市にある十和田地域広域斎苑で見学会を実施しました。十和田市は青森県南部に位置し、十和田湖が有名ですが、当斎場は港町八戸に近い市東部にあります。建物は鉄筋コンクリート製の2階建てで、火葬炉4基と汚物炉1基を有し、年間約1,200件の火葬を行っています。平成13年から稼働しているとのことでしたが、素敵な外観である上に、随所に手入れが行き届いており、その年数を感じさせない外観に一同驚かされました。

当斎場には当会の円子理事が勤務されており、見学当日は業務の合間を縫って火葬実務の詳細な説明を頂きました。火葬炉は灯油を燃料とするジェット空気噴射式セラミック炉で台車式です。炉の制御の大半は自動化されているものの、より効率よく良い状態でお骨を残すために微妙な調整は欠かせないとのことで、火葬中は炉内部の様子を伺いつつ、操作盤で手際よく微調整を行っておられました。さらに、デレッキや五徳といった道具の改良を積極的に行っており、これらは円子理事ご自身が提案・設計し、近隣の鉄工所に依頼して製作してもらっているとのこと。特に死産児など、お骨が散逸してしまいがちなご遺体の火葬の際には、散逸を防止するために金網をかぶせるなど工夫されており、業務の上で非常に参考となるお話をととても多く伺いました。

運営の面においては指定管理者制度を導入しており、3年または5年ごとに提案型の競争入札が行われ事業者が選定されています。次期も円子理事が所属される株式会社共同サービスが指定管理者として決定しており、これも日頃のご尽力の賜物と思われました。

少ない人数での運営で、ご苦勞が多いとお話を伺いましたが、随所で積極的な姿勢で火葬業務に臨まれていることを伺い知ることができ、ご遺族に寄り添ってご期待に応えつつ、より効率の良い運営を行うこととはどのようなことを改めて教えられた気がしました。

